

片開きドア施工説明書 (固定タイプ・三次元丁番) (KFタイプ)

ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

⚠ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。
扉の反り、変色などの原因になります。

⓪ 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

⓪ 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。
材質の特性により表面がくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。

⓪ 扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないで下さい。
指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 扉の開閉にあたっては、必ず取手を持って操作して下さい。
取手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まるとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使い下さい。
強い風などで、勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをする恐れがあります。

⓪ 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。

■ 点検・お手入れについて

1. 日常のお手入れは柔らかい布または化学雑巾で拭き取して下さい。
ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取して下さい。
汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。

2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用して下さい。
電動ドライバーを使用した場合は、ネジ頭が壊れる恐れがあります。

4. 扉の調整で丁番固定ねじを緩めた場合は調整後必ず締め付け、ガタツキが無いことを確認して下さい。脱落の原因になる恐れがあります。

5. ドアが傾いたり、ガタついている時は、丁番固定ねじを締め直して下さい。

6. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状態を確認してください。
ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

■ 施工上の注意

⚠ 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。

⓪ 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損の原因になります。

⚠ 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直接付けないで下さい。やむを得ず直接付する場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。

⓪ 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。

⓪ 発熱配付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

マークの見方

⚠ この表示のマークは「留意を要することが想定されるが、決して事故の発生が想定される危険、過激な取組です。

⓪ この表示のマークは「してはいけない禁止」内容です。

④ この表示のマークは「必ず実施して頂く」指示内容です。

お客様へお願い

弊社では、お客様が製品を安全に正しくご使用頂くための
お読み事やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。
施工後は、必ずお客様に手渡して頂きます様お願いいたします。

はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。

運送中に発生したキズ等がございましたら、 運送業者から
事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。

《施工後は当社では責任を負いかねます。》

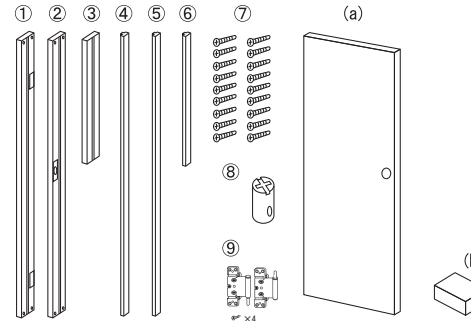
TAC GROUP

部品表（組立前に必ずご確認ください。） 部品リスト

No.	名 称	数量
①	縦枠（丁番付）	1
②	縦枠（ラッチ受け付）	1
③	横枠	1
④	戸当たり（縦枠用）	1
⑤	パッキン付戸当たり（縦枠用）	1
⑥	戸当たり（横枠用）	1
⑦	枠組ビス・固定用ビス	18 (16)
⑧	ログナット	4
⑨	丁番受け（ビス4本）	2

別梱包

(a)	ドア本体・ケース錠	1
(b)	ハンドル	1



■施工手順

1 下図に従い縦枠と横枠を枠組ビスで固定しフレームを作ります。縦枠上部の半貫通穴を裏面より貫通させてから横枠を固定してください。（縦枠と横枠の戸当たりの溝が通りよく直線になっていることを確認してください）

※左右兼用のため吊り元に注意

※ 組み立てビスをログナットの穴に合わせてドライバーで下図のように締めてください。

ドア枠は左右兼用ですので現場で吊り元に合わせて、枠の上下を反転させてお使いください。

左吊り仕様 右吊り仕様

※縦枠は沓摺を使用しない場合、下端をカットして施工してください。

薄沓摺使用時 (H:2,039 ±₀)

沓摺使用しない (H:2,024 ±₀)

枠組立用ガイドホール（2穴）が半貫通加工となります。使用時に上部半貫通穴を貫通加工してください。

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

2 フレームを柱間に入れます。 ※さげふり・水準器を用い水平垂直を出しねじり等がない事を確認しながら、縦枠の取り付け用穴へ枠組ビスで固定してください。 ※この際タイコ・ツツミが出ないように特に注意してください。

3 戸当たりを取り付けしてください。
・戸当たりの足の外側へ下図のように接着剤を塗布してください。

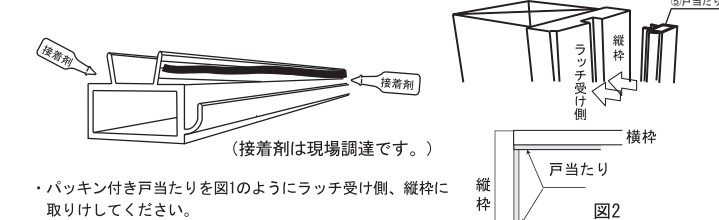
※戸当りは図2のように横勝ちで取付けてください。

※取り付けの際、横枠面を初めに叩き込み、次に、縦枠面を叩き込んでください。

※戸当りは、かい木等使用し、直接ハンマーなどで叩き込まないでください。

※接着剤は必ず使用してください。使用する接着剤は樹脂&木製品接着可能（F4、又はノンホルムタイプ）をご使用ください。（現場調達）

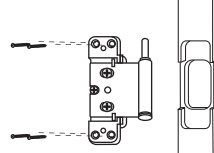
※はみ出した接着剤は拭取りしてください。



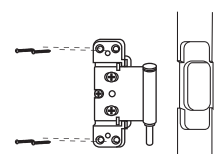
扉取り付け

枠に付いている丁番羽根のA・Bを確認し同じアルファベットの丁番受けを扉に取り付けてください。

L（左吊元）

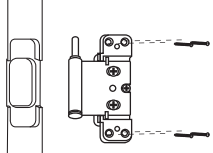


扉上部：B 丁番

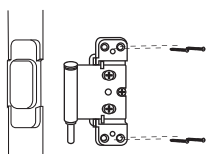


扉下部：A 丁番

R（右吊元）



扉上部：A 丁番

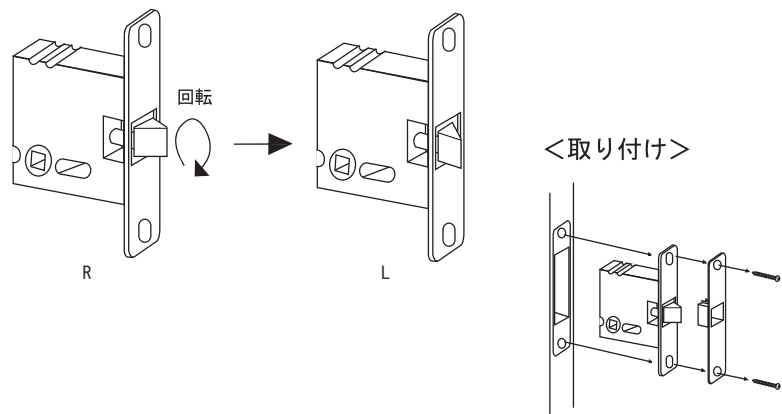


扉下部：B 丁番

勝手調整

ケースが扉に取り付けられている為、図のようにR/Lを調整してください。

<L・R勝手を確認調整>



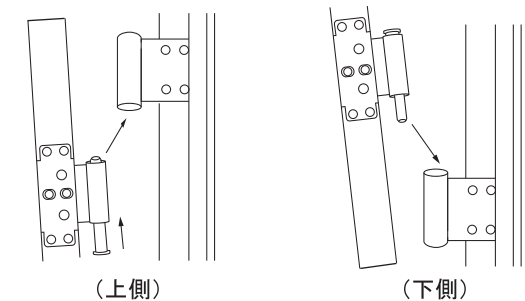
<取り付け>

4 扉の吊込

1. 予め、上側の扉金具の軸を下げておく。
2. 下側の扉金具の軸を下側の枠金具の軸受けに差し込む。
3. 上側の扉金具を枠金具の軸受けに合わせ、扉金具の軸を押し込む。
4. 扉を開閉し、作動を確認します。

* 注意 ドア表面に養生テープを貼らないでください。

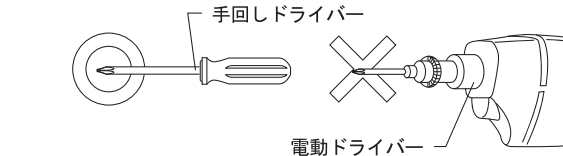
※指図は左勝手のドアの施工例となります。



建て付け調整

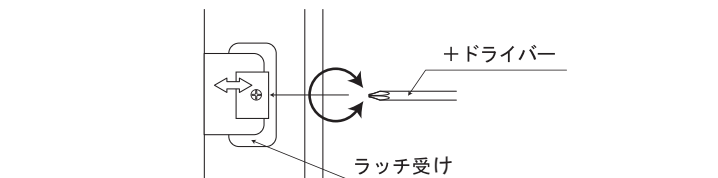
※建付け調整は必ず手回しドライバー（NO:2サイズ）を使用してください。

※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



ラッチ調整

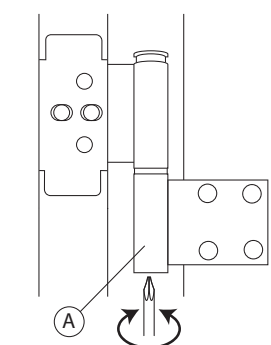
ラッチの掛かりが悪かったり逆にガタついたりする場合は、右図の要にてラッチ受けにて調整してください。



扉の調整

上下調整（出荷時より±2mm）

① プラスドライバーで調整ネジ(A)を調整します。

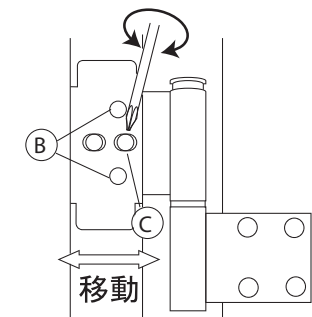


前後調整

（出荷時より±1.5mm）

① 固定ネジ(B)を緩め調整ネジ(C)にて位置を調整します。

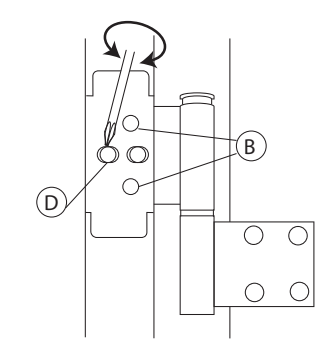
② 固定ネジ(B)を締めます。



左右調整（出荷時より±2mm）

① 固定ネジ(B)を緩め調整ネジ(D)にて位置を調整します。

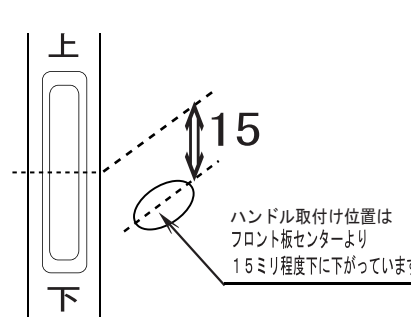
② 固定ネジ(B)を締めます。



レバーハンドルの取り付け

扉の吊り込み時に上下を御確認下さい。

ハンドルの取り付けの際は、同梱の
取り付け説明書を参照してください。



室内ドア 寸法図

	648mm	728mm	735mm	755mm	768mm	848mm
W	648	728	735	755	768	848
IW	600	680	687	707	720	800
DW	592	672	679	699	712	792

※縦枠の長さ（2,043mm）は現場の納まりにあわせてカットしてください。

